



## リモートアクセス VPN の移行

- [AAA サーバーキーの取得の自動化 \(1 ページ\)](#)
- [ASA with FirePOWER Services 構成からのクリアテキスト形式での AAA サーバーキーの取得 \(1 ページ\)](#)
- [ASA with FirePOWER Services からの PKI 証明書のエクスポートと管理センターへのインポート \(2 ページ\)](#)
- [AnyConnect パッケージとプロファイルの取得 \(3 ページ\)](#)
- [ドメインと AD プライマリドメインの取得 \(4 ページ\)](#)

### AAA サーバーキーの取得の自動化

Firewall 移行ツール 3.0 は、ローカルユーザー、Radius、および Live Connect ASA の LDAP/LDAPS/AD サーバーに使用されるキーの取得を自動化するか、または **more system: running-config** コマンドをアップロードする場合。また、すべてのキーを手動で取得し、**[確認と検証 (Review and Validate)] > [リモートアクセス (Remote Access VPN)]** の下の **[AAA]** セクションに入力することもできます。

### ASA with FirePOWER Services 構成からのクリアテキスト形式での AAA サーバーキーの取得

始める前に

ASA with FirePOWER Services では、構成したキーは暗号化されたハッシュとして保存されます。ただし、*showrun* コマンドを使用すると、実行構成でキーがクリアテキストで表示されることはありません。キーは、ローカルユーザー、Radius と LDAP、LDAPS、または AD サーバーに使用されます。クリアテキスト形式でキーを取得するには、次の手順を実行します。

## 手順

- ステップ 1** SSH コンソールを介して ASA に接続します。
- ステップ 2** `more system:running-config` コマンドを入力します。
- ステップ 3** **aaa-server and local user** セクションに移動してクリアテキスト形式のすべての AAA 構成と対応するキー値を見つけます。

```
ciscoASA#more system:running-config
!
aaa-server Test-RADIUS (inside) host 2.2.2.2
  key <key in clear text> <-----The radius key is now displayed in clear text format.
aaa-server Test-LDAP (inside) host 3.3.3.3
  ldap-login-password <クリアテキストのパスワード> <-----LDAP/AD/LDAPS パスワードがクリアテキスト形式で表示されるようになりました。
username Test_User password <Password in clear text> <-----The Local user password is shown in clear text.
```

- (注) ローカルユーザーのパスワードが暗号化されている場合は、パスワードを内部で確認するか、または Firewall 移行ツールで新しいパスワードを構成できます。

# ASA with FirePOWER Services からの PKI 証明書のエクスポートと管理センターへのインポート

## 始める前に

リモートアクセス VPN には、次の証明書が必要です。

- グローバル SSL プロトコル
- IKEv2 プロトコル
- インターフェイス証明書
- SAML

ASAASA with FirePOWER Services では、トラストポイントモデルを使用して、証明書を構成に保存します。トラストポイントは、証明書が保存されるコンテナです。ASAASA with FirePOWER Services トラストポイントは最大 2 つの証明書を保存できます。

ASAASA with FirePOWER Services 構成ファイルの ASAASA with FirePOWER Services トラストポイントまたは証明書にはハッシュ値が含まれています。したがって、それらを管理センターに直接インポートすることはできません。

インポート先の管理センターで、移行前アクティビティの一環として、ASAASA with FirePOWER Services トラストポイントまたは VPN 証明書を PKI オブジェクトとして手動で移行します。

#### 手順

**ステップ 1** 次のコマンドを使用し、CLI を介してインポート元の ASAASA with FirePOWER Services 構成から PKI 証明書をキーとともに PKCS12 ファイルにエクスポートします。

```
ASA(config)#crypto ca export <trust-point-name> pkcs12 <passphrase>
```

**ステップ 2** PKI 証明書を管理センターにインポートします ([オブジェクト管理 (Object Management) ] [PKI オブジェクト (PKI Objects) ] )。

詳細については、『[Firewall Management Center Configuration Guide](#)』 [英語] を参照してください。

手動で作成した PKI オブジェクトは、[リモートアクセス VPN (Remote Access VPN) ] の [トラストポイント (Trustpoint) ] セクションにある [確認と検証 (Review and Validate) ] ページの Firewall 移行ツールで使用できるようになりました。

## AnyConnect パッケージとプロファイルの取得

AnyConnect プロファイルはオプションであり、管理センターまたは Firewall 移行ツールを介してアップロードできます。

#### 始める前に

- 管理センターのリモートアクセス VPN には、1 つ以上の AnyConnect パッケージが必要です。
- 構成が Hostscan と外部ブラウザパッケージで構成されている場合は、これらのパッケージをアップロードする必要があります。
- 移行前のアクティビティの一環として、すべてのパッケージを管理センターに追加する必要があります。
- Dap.xml と Data.xml は、Firewall 移行ツールを介して追加する必要があります。

#### 手順

**ステップ 1** 次のコマンドを使用して、必要なパッケージを送信元 ASA から FTP または TFTP サーバーにコピーします。

```
Copy <source file location:/source file name> <destination>
ASA# copy disk0:/anyconnect-win-4.10.02086-webdeploy-k9.pkg tftp://1.1.1.1 <----- Example
of copying Anyconnect Package.
ASA# copy disk0:/ external-sso- 4.10.04071-webdeploy-k9.zip tftp://1.1.1.1 <----- Example
```

```

of copying External Browser Package.
ASA# copy disk0:/ hostscan_4.10.04071-k9.pkg tftp://1.1.1.1 <----- Example of copying
Hostscan Package.
ASA# copy disk0:/ dap.xml tftp://1.1.1.1. <----- Example of copying Dap.xml
ASA# copy disk0:/ sdesktop/data.xml tftp://1.1.1.1 <----- Example of copying Data.xml
ASA# copy disk0:/ VPN_Profile.xml tftp://1.1.1.1 <----- Example of copying Anyconnect
Profile.

```

**ステップ 2** ダウンロードしたパッケージを管理センターにインポートします ([オブジェクト管理 (Object Management) ]>[VPN]>[AnyConnect ファイル (AnyConnect File) ])。

1. Dap.xml と Data.xml は、[確認と検証 (Review and Validate) ]>[リモートアクセス VPN (Remote Access VPN) ]>[AnyConnect ファイル (AnyConnect File) ]セクションの Firewall 移行ツールから管理センターにアップロードする必要があります。
2. AnyConnect プロファイルは、管理センターに直接アップロードするか、または [確認と検証 (Review and Validate) ]>[リモートアクセス VPN (Remote Access VPN) ]>[AnyConnect ファイル (AnyConnect File) ]セクションの Firewall 移行ツールを介してアップロードできます。

手動でアップロードされたファイルが Firewall 移行ツールで使用できるようになりました。

## ドメインと AD プライマリドメインの取得

暗号化が LDAPS に設定されている AAA サーバーの場合、ASA は IP とホスト名またはドメインをサポートしますが、管理センターはホスト名またはドメインのみをサポートします。ASA 構成にホスト名またはドメインが含まれている場合、それらが取得されて表示されます。ASA 構成に LDAPS の IP アドレスが含まれている場合は、[リモートアクセス VPN (Remote Access VPN) ] の下の [AAA] セクションにドメインを入力します。AAA サーバーの IP アドレスに解決できるドメインを入力する必要があります。

タイプが AD の AAA サーバー (サーバータイプは ASA 構成で Microsoft) の場合、[AD プライマリドメイン (AD Primary Domain) ] は管理センターで構成する必須フィールドです。このフィールドは ASA では個別に構成されず、ASA の LDAP-base-dn 構成から抽出されます。

```
If the ldap-base-dn is: ou=Test-Ou,dc=gcevpn,dc=com
```

[AD プライマリドメイン (AD Primary Domain) ] は、プライマリドメインを形成する dc、dc=gcevpn、dc=com で始まるフィールドです。AD プライマリドメインは gcevpn.com になります。

LDAP-base-dn のサンプルファイル :

```
cn=asa,OU=ServiceAccounts,OU=abc,dc=abc,dc=com:
```

ここで、dc=abc と dc=com が abc.com として結合され、AD プライマリドメインが形成されます。

```
cn=admin, cn=users, dc=fwsecurity, dc=cisco, dc=com:
```

AD プライマリドメインは fwsecurity.cisco.com です。

AD プライマリドメインは自動的に取得され、Firewall 移行ツールに表示されます。



- 
- (注) AD プライマリドメインの値は、レルムオブジェクトごとに一意である必要があります。競合が検出された場合か、または Firewall 移行ツールが ASA 構成で値を見つけられない場合は、特定のサーバーの AD プライマリドメインを入力するように求められます。AD プライマリドメインを入力して構成を検証します。
-

